

平成20年度 P R T R法に基づく届出状況(平成19年度データ)について

平成11年7月に公布された「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(以下、「P R T R法」という。)では、業種や従業員数等一定の要件を満たす事業者は、毎年、前年度に各事業所で取り扱った化学物質について、大気や河川等の環境中へ排出する量及び廃棄物等として事業所外へ移動する量を把握し、その結果について自治体を經由し国へ届出ることが義務付けられました。

平成17年度までは岡山県への届出でしたが、平成18年度の届出からは倉敷市内の事業所については、倉敷市への届出となりました。

本市では、平成20年度は205事業所(平成19年度は202事業所)から届出がありました。

1. 前年度と比較した届出状況について

平成20年度、本市の事業所からは205件の届出があり、排出量の合計は 2,371,865kg/年、事業所外への移動量の合計は 4,547,394kg/年でした。前年度と比較すると排出量、移動量とも減少しています。

表1. 前年度届出との比較

排出年度	H16	H17	H18	H19	前年比
届出事業所数(件)	191	202	202	205	+3
届出物質数(物質)	117	121	122	122	±0
排出量合計(kg/年)	3,086,768	2,773,022	2,474,883	2,371,865	103,018
移動量合計(kg/年)	8,659,767	6,614,588	5,448,920	4,547,394	901,526
排出量:ダイオキシン類 (mg-TEQ/年)	12,420	11,153	10,829	11,433	604
移動量:ダイオキシン類 (mg-TEQ/年)	18,740	20,140	25,720	22,275	3,445

(:H16 は倉敷市と真備町と船穂町の合計)

2. 事業所からの届出状況について

市内の25業種205事業所から届出があり、業種別では燃料小売業の92件が最も多く、次い

で、製造業の80件の順となっています。業種別の届出件数、排出量・移動量の内訳は表2 - 1に示すとおりです。排出量、移動量ともに製造業が全体の95%以上を占めています。

表2 - 1 業種別届出状況

業種	届出数	排出量合計 (kg/年)	移動量合計 (kg/年)	DXN類 排出量合計 (mg-TEQ/年)	DXN類 移動量合計 (mg-TEQ/年)
製造業	80	2,332,432	4,525,325	11,085	225
電気業	2	3,200	1,800	0	0
下水道業	5	7,214	0	0	0
倉庫業	2	10,800	0	0	0
燃料小売業	92	6,448	0	0	0
自動車整備業	14	9,500	20,237	0	0
一般廃棄物処理業 (ごみ処分量に限る。)	8	39	32	340	15,350
産業廃棄物処分量	2	2,231	0	9	6,700
合計	205	2,371,865	4,547,394	11,433	22,275

DXN類:ダイオキシン類

排出量・移動量は少数第1位を四捨五入したものを集計している。集計方法により、端数が異なる場合がある。

(1) 環境への排出量が多かった業種

環境への排出量が多かった業種は表2 - 2のとおりです。上位5業種の合計は 1,816,170kg/年で、全排出量 2,371,865kg/年の75%以上を占めていました。

表2 - 2 業種別の環境への排出状況

業種コード	業種	排出量(kg/年)	割合(%)
2200	プラスチック製品製造業	452,700	19.1
2000	化学工業	370,552	15.6
3140	船舶製造・修理業, 船用機関製造業	369,000	15.6
2300	ゴム製品製造業	366,067	15.4
3100	輸送用機械器具製造業	257,851	10.9
	合計	1,816,170	76.6

(2) 事業場外への移動量が多かった業種

事業場外への移動量が多かった業種は表2 - 3のとおりです。化学工業と鉄鋼業が全移動量4,547,394 kg/年の90%以上を占めており、上位5業種の合計は4,447,768kg/年で、全移動量の95%以上を占めています。

表2 - 3 業種別の事業場外への移動状況

	業種コード 業種	移動量(kg/年)	割合(%)
	2200 化学工業	2,377,942	52.3
	2600 鉄鋼業	1,906,306	41.9
	3100 輸送用機械器具製造業	76,806	1.7
	2300 ゴム製品製造業	52,019	1.1
	2200 プラスチック製品製造業	34,695	0.8
	合 計	4,447,768	97.8

3. 届出された排出量及び移動量の状況について

排出量、移動量の合計は、6,919,259kg/年で、排出先又は移動先別の状況は、表3 - 1のとおりです。排出量は2,371,865kg/年(34.3%)、移動量は4,547,394kg/年(65.7%)となっており、廃棄物として事業場外への移動、大気への排出の割合が高くなっています。

表3 - 1 排出先別又は移動先別の内訳

排出先又は移動先の区分		量 (kg/年)	割合 (%)	DXN類 (mg-TEQ/年)	割合 (%)
環境への排出 (2,371,865kg/年)	大気	2,277,265	32.9	11,419	33.9
	公共用水域	94.600	1.4	14	0.0
	土壌	0	0	0	0
	事業場における埋立処分	0	0	0	0
事業場外への移動 (4,547,394kg/年)	下水道	0	0	0	0
	廃棄物	4,547,394	65.7	22,275	66.1

量については、小数第1位を四捨五入

(1) 環境への排出量が多かった物質

環境への排出量が多かった上位5物質の合計は、表3 - 2のとおり 2,078,105kg/年であり、全排出量 2,371,865kg/年の約88%を占めていました。

表3 - 2 物質別の環境への排出量

		量(kg/年)	割合(%)	主な用途
	キシレン	911,756	38.4	溶剤等
	トルエン	770,023	32.5	溶剤等
	エチルベンゼン	273,641	11.5	合成原料, 溶剤等
	スチレン	87,884	3.7	合成原料等
	H C F C - 141b	34,800	1.5	溶剤、洗浄剤等
	合 計	2,078,105	87.6	

量については、小数第1位を四捨五入

(2) 大気への排出量が多かった物質

大気への排出量が多かった上位5物質の合計は、表3 - 3のとおり 2,075,440kg/年であり、大気への全排出量 2,277,265kg/年の90%以上を占めていました。

表3 - 3 物質別の大気への排出量

		量(kg/年)	割合(%)	主な用途
	キシレン	910,326	40.0	溶剤等
	トルエン	768,922	33.8	溶剤等
	エチルベンゼン	273,523	12.0	合成原料, 溶剤等
	スチレン	87,869	3.9	合成原料等
	H C F C - 141b	34,800	1.5	溶剤、洗浄剤等
	合 計	2,075,440	91.1	

量については、小数第1位を四捨五入

(3) 公共用水域への排出量が多かった物質

公共用水域への排出量が多かった上位5物質の合計は、表3 - 4のとおり 75,615kg/年であり、

公共用水域への全排出量 94,600kg/年の約80%を占めていました。

表3 - 4 物質別の公共用水域への排出量

		量(kg/年)	割合(%)	主な用途
	ふっ化水素及びその水溶性塩	28,950	30.6	エッチング剤等
	マンガン及びその化合物	17,281	18.3	合金の原料等
	ほう素及びその化合物	16,242	17.2	ガラス繊維の原料等
	モリブテン及びその化合物	8,100	8.6	合金の原料等
	ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)	5,042	5.3	界面活性剤
	合 計	75,615	79.9	

量については、小数第1位を四捨五入

(4) 事業場外への移動量が多かった物質

事業場外への移動量が多かった上位5物質の合計は、表3 - 5のとおり 3,125,924kg/年であり、全移動量 4,547,394kg/年の約70%を占めていました。なお、移動量は下水道への移動はなく、全て廃棄物としての移動でした。

表3 - 5 物質別の事業場外への移動量

		量(kg/年)	割合(%)	主な用途
	マンガン及びその化合物	1,658,259	36.5	合金の原料等
	クロロベンゼン	580,000	12.8	合成原料、溶剤等
	トルエン	463,929	10.2	溶剤等
	テトラヒドロメチル無水フタル酸	250,000	5.5	合成原料等
	キシレン	173,735	3.8	溶剤等
	合 計	3,125,924	68.7	

量については、小数第1位を四捨五入

(5) 特定第一種指定化学物質の排出量及び移動量の状況

第一種指定化学物質のうち、人に対する発がん性があると評価されている物質は特定第一

種指定化学物質に指定され、現在12物質があります。届出が合った物質は8物質であり、排出量の合計は29,445kg/年で全体の排出量の1.2%、移動量の合計は119,879kg/年で全体の移動量の2.6%でした。

表3 - 6 特定第一種指定化学物質の排出量・移動量

物質名	届出数	排出量合計 (kg/年)	移動量合計 (kg/年)	排出・移動量合計 (kg /年)
石綿	4	0	33,500	33,500
エチレンオキシド	2	110	0	110
カドミウム及びその化合物	11	0	0	0
六価クロム化合物	13	2	480	482
塩化ビニル	1	13,000	0	13,000
ニッケル化合物	8	1,315	18,799	20,114
ベンゼン	112	15,018	67,100	82,118
合計		29,445	119,879	149,323

量については、小数第1位を四捨五入

物質名	届出数	排出量合計 (mg-TEQ /年)	移動量合計 (mg-TEQ /年)	排出・移動量合計 (mg-TEQ/年)
ダイオキシン類	29	11,433	22,275	33,708

その他

(1)数値の取扱上の留意点

事業場が届出を行った排出量、移動量は、PRTR 法施行規則で定められた方法のうち事業場が適当と判断した方法により算出したもので、必ずしも実測値に基づくものではなく、推測値もあります。

(2)開示請求への対応について

事業所ごとの個別の届出データについては、国(環境省及び経済産業省)のホームページ上で公表されています。また、国に対して開示請求を行うこともできます。